

【日 時】 令和5年10月30日（月） 15:00～16:30

【場 所】 高山市役所 4階 特別会議室

【出席者】（委 員） 座 長 河渡 正暁
副座長 井口 智人
大村 貴之
丸山 永二
岩塚 久案子
大塚 則幸
坂上 博幸
黒田 久美子
荒川 幸雄
池田 新

（有識者） 中部大学 教授 服部 敦

（市） 総合政策部長、市民活動部長、福祉部長、都市政策部長、総合政策課長、
生涯学習課長、福祉課長、子育て支援課長、総合政策係長、総合政策係員

【次第】

1 開 会

2 協議事項

高山駅西地区複合・多機能施設整備基本計画に係る整備方針案について

3 その他

（1）市民意見収集について

（2）サウンディングについて

4 閉 会

【議事要旨】

1 開 会

総合政策部長	（あいさつ）
--------	--------

2 協議事項

高山駅西地区複合・多機能施設整備基本計画に係る整備方針案について

総合政策課	（資料3に基づき説明）
-------	-------------

(資料4「複合・多機能施設等の全体配置について」)

岩塚委員	市民の様々な声を丁寧に反映していただけたと思う。 総合福祉センターや勤労青少年ホーム、文化会館・公民館は取り壊す予定か。また、取り壊し後は更地になるのか。
総合政策課	移転後に残る建物は基本的に取り壊しを予定している。 その後の活用については未定である。
岩塚委員	ファミリーサポートや児童センターで遊ぶ子どもたちは、公園もセットで利用しているため、子育て支援機能の一体利用としては公園が少し遠くなるという思いはあるが、他は今の内容で良いと思う。
黒田委員	みなみまちづくり協議会では、「複合・多機能施設」の建設予定地にある民間駐車場と契約し、地域の方々に利用してもらっている。駐車場（新設）は、公共施設の利用者以外も駐車できるのか。
総合政策課	相互利用や有効活用は考えていく必要があり、その中で市民の皆さまの利用について整理していく。
井口副座長	駐車場（新設）から複合・多機能施設への移動は、横断歩道を渡ることになるのか。 バリアフリーの観点から、配慮が必要であると考えます。
総合政策課	横断歩道を渡ることになる。場合によっては、連絡通路をつくるなど、利便性が損なわれないような形を検討する必要がある。
坂上委員	駐車場（新設）は、他の市営の駐車場と同じ扱いになるのか。 民間の駐車場であると夜間の利用が可能である。夜間の利用が可能であると、ホテルの宿泊者も駐車することができるのでは。
総合政策課	運営・管理手法は、今後検討する。
大塚委員	前回の検討会議に引き続き、複合・多機能施設にする必要性に疑問を感じている。 機能を分散して場所も分けて考えた方が余裕ができ、案1も案2を合わせても良いのではないか。
総合政策課	複合化することについて、メリット、デメリットはそれぞれあるものと考えており、総合福祉センターの機能の一部は、市役所側に分散する形で整備を検討している。 文化会館と公民館は相互利用が多いため、複合化したものを提示している。 しかし、複合・多機能化のデメリットについては、今後整理する必要がある。
丸山委員	民有地は、買収または借用の目処が立っているという認識で良いか。
総合政策課	「高山駅西地区まちづくり構想」をまとめる過程で、検討することについて承諾いただいている。具体については、今後協議していく。
丸山委員	市役所周辺に建設する施設と、複合・多機能施設は、同時に建設を進めるのか。
総合政策課	現段階で整備スケジュールは未定であるが、おそらく複合・多機能施設を先行することになると考える。
荒川委員	4案から最適案を選んだと、丁寧に説明いただけた。 前回議論のあった駐車場の件についても、十分な規模を確保していただけている。
大村委員	(複合・多機能施設について、) 駅に近く、駐車場も十分確保されており、前回の議論を反映していただけていると感じた。 案の選定において、コストの比較はしているのか。
総合政策課	コストについては、具体的な金額は未定のため、資料6のコメントにて評価している程度に留まる。

池田委員	昭和児童公園は整備を予定しているのか。
都市政策部	具体的には未定であるが、総合福祉センターが移転する関係で変化が考えられる。

(資料5「複合・多機能施設等の整備イメージについて」)

岩塚委員	<p>(子育て支援について) 子どもの遊び場は現行の児童センターより広くなり、ファミリーサポートも併設するとのこと、大変ありがたく思う。また、総合福祉センター閉館後の夜間は市役所まで行く必要があったが、この心配もなくなる。オーケストラを聞きたいが子どもがいて難しい、という母親の悩みにも対応できる。さらに、これまで文化会館で勉強していた高校生の居場所も確保されている。これら様々な側面で機能アップが期待できる。</p> <p>さらに言うと、高校生が楽しめるような娯楽施設があると良い。(VRやドローン等)</p>
丸山委員	<p>以前実施したアンケート調査の結果では、「映画館がほしい」という意見が多かった。「映画を見られる部屋がほしい」のか、「映画館がほしい」のかによって必要な機能は大きく異なる。何か考えがあるのか。</p> <p>また、民間事業者による付加機能によって、本来予定していた機能が圧迫されることを懸念する。</p>
総合政策課	<p>娯楽機能については、これから民間事業者と意見交換を行い、どのようなことができるか可能性を考えていく段階である。民間活力の導入についても、整備・管理・運営方法などにおいてどのような関わり方が可能かこれから探っていきたい。</p>
河渡座長	<p>(文化芸術について) 指定管理者としてはこの方針で進めていただければと思う。</p> <p>500～600席規模のホールは他にもあるため、これらと差別化も考慮し、300席程度の座席数を確保できれば良い。</p>
大塚委員	<p>飛騨・世界生活文化センターの飛騨芸術堂は、500席程度であるが音響が非常に良い。しかし、収容人数が少ないため収益性が見合わない。収益性も考慮した規模を探してほしい。</p>
市民活動部	<p>席数や音響、照明によって用途の向き不向きがある。利用目的においても、周辺ホールとの棲み分けを考えていくことが必要である。</p> <p>また、ある程度の広いステージでしかできない催しがある。概ね1,000席を超えなければ誘致できない事業があることを加味すると、示した程度の規模は適正な規模であると考えている。</p>
荒川委員	<p>(交流について) 図書館サービスにおけるリファレンスサービスとはどういうものか。</p>
市民活動部	<p>リファレンスサービスとは、情報を求めている方への情報提供のことを指す。</p>
丸山委員	<p>現在の文化会館では、展示室以外の部屋も展示に使用されており、後付けの照明が備わっている。複合・多機能施設においても、展示室以外でも展示に対応できる設備を整える必要がある。</p>
市民活動部	<p>使い方として様々な想定が必要であると認識している。工夫しながら多様な目的で利用していただける施設にすることが非常に重要である。</p>
井口副座長	<p>交流、情報提供の面で、外国人の方への配慮もあると良い。</p>
福祉部	<p>(外国人への配慮ではないが、) 総合福祉センターは、貸館などの機能は複合・多機能施設に、社会福祉協議会の支援機能は市役所周辺に、といったように色分けをしていきたい。</p>

(全体を通して)

荒川委員	(商業・娯楽について) 1月の市民向け説明会では、「事業者との意見交換にて『ショッピングセンターは採算性が取れないため魅力がない』との回答があった」と説明していたが、今回再度検討するということは、どういった考えがあるのか。
総合政策課	前回の事業者との意見交換は、3事業者に対して行ったものであるが、今後はより幅広い事業者に対して実施する予定である。多様な意見を頂く中で、そういった点について探っていきたいと考えている。
荒川委員	「幅広く」というのは、飛騨地域の事業者のみか、全国規模か。
総合政策課	詳細については、「3 その他」にて説明する。
池田委員	(子育て支援について) 複合・多機能施設の1階・2階に子育て支援機能が配置されるとあるが、子どもの遊び場とファミリーサポートはそれぞれどちらに入ることを想定しているのか。 子どもの遊び場については、外から遊んでいる様子が見ると良いのでは。観光者に対して、子育て支援に力を入れていることアピールすることができる。また、他の利用者にとっても入りやすくなる。
子育て支援課	具体的な配置は今後検討する予定である。
大塚委員	高山市が芸術文化の振興を目指すにあたり、映画館がないのはいかがなものか。 商業ベースで映画を見られる施設のニーズがあると考ええる。 多目的ホールではなく、小規模でも映画館の整備について考えてほしい。
総合政策課	映画館も様々な形態がある。商業ベースでは採算性が非常に重要であるため、意見交換を進めながら可能性を検討する。
岩塚委員	子どもの遊び場は、木育と絡めたものができるのと良いと考える。 県が進める「ぎふ木育ひろば」の申請の予定はあるか。 また、コンセプトとして高山らしさをちりばめる予定はあるか。
総合政策課	現時点では、「ぎふ木育ひろば」については具体の検討はない。 ただし、木質化をはじめとして高山らしさを盛り込んでいきたいと考える。
服部教授	資料や各委員の意見を通して、以下3点をコメントする。 1点目は、複合・多機能施設についてである。多機能が1つにまとめることのメリット(施設の相互連携、相乗効果など)をしっかりと整理し説明していかなければならない。管理・運営の在り方、周辺施設との連携も含めて検討することで、柔軟な使い方も生まれてくるのではないかと。 2点目は駐車場についてである。ピーク時の交通を様々なパターンでシミュレーションすることが必要である。また、立体駐車場であると都市景観として圧迫感がある。いかに景観に配慮したものができるか、さらに商業施設と複合化するのかなどについて検討していきたい。 3点目は、空間的な整備についてである。駅の東西自由経路とどのように繋がるのか、施設のメインエントランスを1階とするか2階とするか、等の検討が必要である。

3 その他

(1) 市民意見収集について

総合政策課	(資料7のうち「市民意見収集」について説明)
-------	------------------------

(2) サウンディングについて

総合政策課	(資料7のうち「サウンディング」について説明)
大村委員	今実際に文化会館を利用している高校生にも意見を聞くことで、実際の利用者目線の意見を反映させることができるのではないか。

6 閉会

総合政策課	(連絡事項)
丸山委員	検討会議の議事録は、他の委員会などの場や公に公開されるものか。
総合政策課	第1回の議事録は、第2回検討会議の資料として公開する予定である。 検討会議全体の意見は、別途まとめて公表することを考えている。
総合政策課	(閉会のあいさつ)